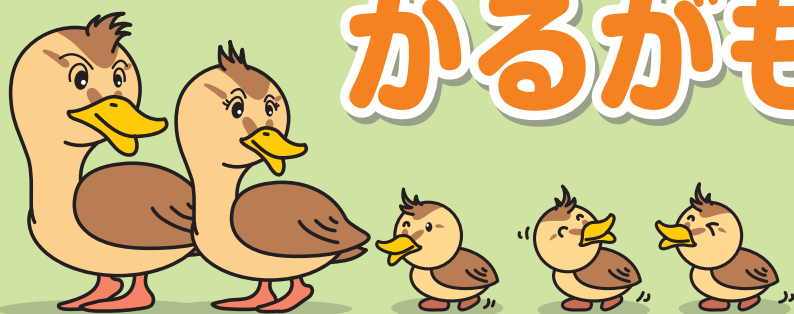


かるがもくらぶ



第66号

令和5年9月発行

「夏季交流会」を開催しました

- 日時** 令和5年7月15日(土)
10:00～12:00
- 場所** フレアス舞鶴・セミナールーム
多目的ルーム
- 参加者** 18組、52名

今回の夏季交流会は、「バルーンアート」に挑戦しました！
講師は、まかせて会員として活動している、太田とし子さんにお世話になりました。

初めは風船が割れないかハラハラしながらのスタートでしたが、慣れてくると手際よくねずみや剣を作る方もありました。少し難易度の高いうさぎにも挑戦することができました。

最後にねずみ飛ばし競争で、たいへん盛り上がりました。練習タイムから皆さん真剣。ねずみのしっぽを引っ張って、手を離すとピョーンと飛んでいきます。より遠くに飛ばせた人の勝ち。

賞品は太田さんの作品でした。

花束やとんぼ、うさぎ、ねこなど素敵な作品をゲットした方々は大喜び。「家でもやってみたくて、道具をそろえて作りました！」という声も届いていました。



毎年恒例の「ファミサポクリスマス交流会」は、会場の都合で今年は開催できません。来年の2月～3月頃にイベントを考えていますので、楽しみにしててください(^ ^)／



たくさんの会員とご家族に参加していただきました！



上手にできたね！



ねずみさん
とぶかなー



会員募集中

中総合会館5階で受け付けています。来館できない方はご連絡いただいたら訪問させていただきます。



おねがい会員って!?

- 美容院や買い物に行く時、子どもを預かってほしい。
- 保育園・幼稚園・放課後児童クラブ・習い事等への送り迎えにいてほしい。
- 保育園・幼稚園・放課後児童クラブ・小学校等から帰宅後に少しの間預かってほしい。
- 上の子の授業参観の時、下の子を預かってほしい。

こんな時にお願いできます。

まかせて会員って!?

- 空いている時間があれば預かります。
- 自分の子どもが園・小学校等に行っている間は手が空いているので預かります。
- 子どもが好き！子育ての経験を生かしたい!!
- 送迎だけならできますよ。

安心しておまかせください。

まいづるファミリー・サポート・センター

〒625-0087 舞鶴市字余部下1167番地
中総合会館5F

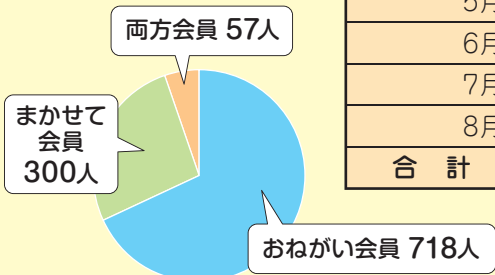
TEL・FAX 0773-64-7522

2023年度 活動実績

2023年4月~8月

会員数

会員総数:1,075人



月別活動件数

2023年 4月	94件
5月	133件
6月	123件
7月	139件
8月	71件
合計	560件

主な活動内容ベスト5

活動内容	件数
① 保育所・幼稚園等の送り	107件
② 保護者の短時間就労等の援助	92件
③ 保育所・幼稚園等の迎え	91件
③ 産前・産後訪問支援	91件
④ 子どもの習い事等の援助	78件
⑤ 保護者の外出の場合の援助	69件

ファミサポ活動報告書より

送迎

- ☆おねがい会員宅から園へ朝送り。初めは泣いていたけど、回数を重ねるうち、お母さんに笑顔で「いってきます!」と言えるようになりました。
- ☆療育施設と園への送迎。着替えをリュックに入れてもらい、こども園から元気に出発!アンパンマンのCDを聞いて機嫌よく駐車場の待ち時間を過ごせました。
- ※その他の活動として、学童クラブから習い事への送迎。



ひろばでの預かり

- ☆西市民プラザでの預かり。ブロック・木のおもちゃ・コマ、ままごとではたくさんのご馳走を作って持ってきてくれました。
- ☆昭光保育園よちよち広場での預かり。お部屋の中で遊んだり、園庭に出て保育園の子どもたちと一緒に泥遊びやダンゴ虫さがしをしたりして、ご機嫌で遊びました。
- ☆フラス舞鶴・託児ルームでの預かり。なかよしのお友達に「ちょうだい!」したり、譲り合いが出来たり...ダンスや手遊びでノリノリで遊びました。

まかせて会員宅での預かり



- ☆まかせて会員宅にて。絵本の大好きな〇〇ちゃん。いろいろお話しを交えながらスラスラ読んで楽しそうでした。
- お預かりが終わったら、近所のお友達と遊ぶんだ!と話してくれました。
- ☆まかせて会員の子どもと一緒におねがい会員の子どもをお預かり。お昼のお弁当はイヤイヤせず残さず完食! (まかせて会員の子どもが)〇〇ちゃんのことを年下の子だと思ったようで途中からお弁当を食べさせてあげていました(笑)。〇〇ちゃんもされるがまま大きなお口を開けて食べさせてもらっていました。食後は2人でダンボールハウスに入ったり、カーテンの後ろに隠れて楽しんだり、プール遊び、お部屋ではアヒルの階段のぼりやトレインコースターに興味津々!夢中になって見ていました。

産前・産後訪問支援

- ☆部屋の掃除と洗濯物を干す。〇〇ちゃん、お座りからハイハイの姿勢になるのもスムーズ! いないいないばあをするとご機嫌で声を出して笑っていました。
- ☆沐浴。ご機嫌さんで入ることができました。さっぱりしたのか沐浴後はニコニコ笑顔が見られました。その他、買い物・ごはん作り・洗濯物をたたむ・など。
- ☆見守り。絵本をみたり、車で遊んだりしました。つかまり立ちから少し手を離せるようになってびっくりしました。お散歩をしました。離乳食を食べました。



子どものための災害への備え

近年、大規模災害が全国的に増えています。いつどこで起こるかわからない災害には、日ごろからの備えが大切です。特に小さいお子さんがいる家庭では、子どもを連れて避難をする具体的なイメージをもち、そのための準備をすることが必要です。3ステップで災害への備えについて考えてみましょう。

ステップ1 自宅の環境をチェック

● ハザードマップを確認しよう

自宅周辺でどのような災害が起こるのか、避難場所や避難経路を確認しましょう。

● 家具の配置を考えたり、家具に転倒・移動防止器具をつけて固定しましょう。

地震が起きた時にすぐに身を守るスペースの確保をしましょう。災害時だけでなく、こどもの事故防止にもつながります。



ステップ2 防災バッグの準備

● 防災バッグは両手が自由に使えるリュックサックが安心です。

● 乳幼児の家庭で必要なものをあげています。お子さんの成長に合わせて内容を見直してください。

食料品、飲料水 (最低3日分)

- ミルク(粉ミルク・液体ミルク)
- 哺乳瓶
プラスチック製が割れにくいです。
使い捨て用も用意しておくといいです。
- ベビーフード
- おやつ
(普段食べ慣れているもの)
- 水(軟水)



紙おむつ・おしりふき・ビニール袋

おしりふきは体を拭いたりするのに使えます。使用済みのおむつを入れるビニール袋も忘れずに。

着替え・タオル

授乳中の場合は授乳ケープもあると安心です。(バスタオルで代用も可能)
バスタオルはいざという時におくるみや毛布代わりとして使用することもできます。

母子健康手帳・健康保険証のコピー

普段も使うものなので防災バッグには健康保険証のコピーを入れておきましょう。

抱っこひも

避難時はベビーカーでの移動が困難な場合もあります。抱っこひもの方が身動きがとりやすいでしょう



おもちゃ

持ち運びしやすいお気に入りのものを。

ステップ3 家族でシュミレーションをしてみよう

- 避難グッズや食料品などは、一度使ってみたり食べてみることで内容の見直しもできます。
- できる限り家の電気やガスを使わず、おうちキャンプをしてみるのもいいですね。

ローリングストックという方法

普段の食品や日用品を少し多めに買い置きしておいて、消費期限の近いものから消費し、消費した分は買い足して一定量のストックを確保しておく方法です。

子どもの衣服やオムツは成長とともにサイズアウトしていきますし、離乳食も月齢に応じて変わっていきます。ローリングストックをしておくことで成長に応じたものが常にストックできます。

日時 令和5年7月13日(木) 10:00～12:00

時間 フレアス舞鶴・セミナールーム

講師 京都府助産師会 産前・産後訪問支援員養成講座・副代表 ひとみ助産院長 永木ひとみさん



※産前・産後訪問支援員とは…京都府助産師会が主催する、産前・産後訪問支援員養成講座を修了したまかせて会員です。

研修内容

全員で沐浴実習

① 動画の視聴

助産師みきさんの「ひまわり母ちゃん相談室」
『赤ちゃんの気持ちいいお風呂の入れ方』

② 沐浴実習

- 赤ちゃんは足が常にバスタブに触れていると安心する。

③ 質疑&感想交流 (永木さんのアドバイスを抜粋)

- 従来のやり方に縛られず、赤ちゃんが気持ちよく入れるように、赤ちゃんの気持ちに寄り添って行う事が大切。
- 入浴剤は香料が強いものが多いため、あまりすすめないが、お母さんの価値観を優先する。
- 適温は38(夏)～40(冬)℃が目安。
- ママにもサポートしてもらいながらの沐浴もOK。ゆくゆくはご自身やご家族がすることになるので、ママが楽しんでできるようサポートしていきましょう。



訪問支援の体験談・情報交換

- SNSなどの情報に振り回されがちなお母さんが多いようだ。
- 予防接種を受ける時期について相談を受けたことがある。
 - ➔ 医師や専門機関に相談するよう促す。
- 兄弟が発熱している家庭に訪問支援の依頼があったらどうするか?
 - ➔ センターに相談するように促す。
 - ➔ 「買い物なら引き受けられます。」とお伝えする。
 - ➔ 自分や家族を守るため、お断りすることもある。
- 「取っただけ育休」のパパがいた。ママの負担が増えたという話を聞いた。



編集後記



皆さん元気でお過ごしでしょうか？秋が近づいてきましたが、まだまだ暑いですね。台風も気になりますね。こんな季節なので防災の情報にも目がいつ

てしまいます。

実際に災害にあった方のコメントをみて、必要だと思える物を自分なりに用意してみたり、あるもので工夫したりしています。今回は「子どものための災害への備え」という記事を記載しているので、是非見てくださいね！
(アドバイザー 一同)